

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	23189
課題名	周術期微量元素の過不足を伴う肝細胞癌症例の臨床病理学的背景、手術成績の検討
研究期間	西暦日 2024 年 4 月 30 日（実施許可日） ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2010年1月から2023年12月までの間に旭川医科大学病院 肝胆膵・移植外科に通院または入院し、肝切除を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、診断名、身長、体重、血液検査[白血球、ヘモグロビン、血小板、肝炎ウイルスマーカー、PT、アルブミン、ビリルビン、AST、ALT、γ GTP、ALP、Che、HbA1c、ICG15 分値、AFP、PIVKA-II、Ca、P、Fe、Cu、Zn、Mg]、術式、出血量、手術時間、病理組織診断結果[腫瘍径、部位、脈管侵襲、分化度、肉眼型、背景肝の線維化]、転帰[生存、再発、合併症]） ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐血液 ☐その他（ ） 利用予定日（開始日 2024 年 5 月 15 日）
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	生命活動の維持のために血中の微量元素（いわゆるミネラル）が必要であることは広く知られていますが、肝細胞癌の手術成績に影響を与えるかどうかはわかっておらず、その因果関係を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	期間中に当院で肝切除術を施行した肝細胞癌症例の手術前後の微量元素データを元に2つのグループに分けて、グループ間の手術成績を比較検討します。
その他	特記事項なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者 所在地；旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話番号；0166-68-2503 メールアドレス；sshimada@asahikawa-med.ac.jp 研究責任者：旭川医科大学外科学講座 肝胆膵・移植外科学分野 島田 慎吾